

学校だより

加茂野小学校

学校の教育目標

豊かな心とやりぬく力をもつ加茂野の子
考える子・優しい子・元気な子



「今の私たちにできること」の実践

～アルミ缶収益を能登半島地震の義援金へ～

加茂野小学校長 堀部 昇

① 福祉委員会の総意を全体の総意へ

福祉委員会は、学校や地域の生活が潤うようにと植物の世話をしている。また一方で、資源の有効利用を考え、アルミ缶を回収して収益を有効活用している。アルミ缶は毎週水曜日、前日に呼びかけ、朝の時間に回収してきた。そうしてようやく集めたアルミ缶。その使い道については、福祉委員会が中心となって決めている。委員長は、「今年はアルミ缶の収益、全部を能登半島地震に使いたいと思っています。」と相談してくれた。委員会顧問から話し合いの様子を聞くと、どの子ども、ごく自然に当たり前のように「能登半島の地震のことに使いたい。」という思いであったと聞いた。

福祉委員会の総意は、児童議会に提案、承認され、加茂野小学校児童の総意として決定した。

<20日(火)お昼の放送：委員長の思いを全校へ>

全校のみなさん、こんにちは。福祉委員長の石川莉愛です。今日は、能登半島地震の災害義援金についてお知らせをします。これまで福祉委員会では、アルミ缶の回収をし、困っている人や地域に使うお金をみんなで集めようという活動をしてきました、

1月1日には能登半島地震と言う大きな地震があり、とても大変な状況です。私たち加茂野小学校が何かできることはないか、何かしてあげることはないかと福祉委員会や児童議会で話し合いをしました。そこで、アルミ缶回収で集まったお金を、能登半島地震の災害義援金として使うことになりました。今のところ、今年集まったアルミ缶は、全部で約16200個です。合計18,000円になります。

皆さんの協力や助け合いの気持ちをさらに集めたいと思います。明日、2月21日と来週28日の水曜日はアルミ缶回収日です。2日間でも一人1個でもいいので持ってきてくれるとうれしいです。このことを家族のみなさんにも呼びかけてほしいです。ご協力よろしくをお願いします。

② 21日(水)のアルミ缶回収の様子

これまでの回収とは明らかに違うアルミ缶の数。福祉委員の子たちもうれしさ倍増で、学年ごとに回収、片づけに大忙し。あまりの大変さで手伝っていると、「校長先生、ありがとうございます。ここからは、僕たちで十分できます。」とさわやかに語る6年生。

結果、1回の収集で2142個のアルミ缶が回収された。



保護者の皆様には、授業参観の際やメールにて、福祉委員長の声としてご協力をお願いいたしました。次週、もう一度回収させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度中は、職員室前に回収袋を設置しています。保護者の方、ご覧になられた地域の方、直接持ってきていただいても結構です。もしご家庭にアルミ缶がございましたらご協力よろしくお願いいたします。